

第3回

令和4年11月27日(日)

学生のための教師未来塾



教師未来塾 3回目も大好評！

11月27日(日)に3回目の教師未来塾が行われました。今回は88名の教職を目指す学生の皆さんが集まりました。3回目ということもあり、学生同士の間関係も深まり、より熱心に講話を聞いたり、積極的に演習に取り組んだりする姿が見られました。

研修のテーマや、受講した学生の皆さんの感想を紹介します！

1 講話「特別支援教育について」



特別支援教育は自分にとって苦手な分野だからこそ、理解を深めて児童たちと関われるように生かしたいです。

発達障害の症状や障害のある児童生徒への具体的な合理的配慮、支援の例を知ることができたので、今後実践していきたいです。

子供一人一人必要としている支援は違うということを知り、目の前の子供の実態をしっかり把握することを目指したいです。

2 講話「いじめ・不登校について」

いじめや不登校について、当事者でない自分が指導をする立場になったとき、立ち回りに困ってしまうと感じていたため、今日の講話を生かし、生徒のためになる動きかけをしていきたいです。

いじめはどのような状態であったとしても、重大なこととして捉えて対応していく必要があると感じました。

いじめや不登校などで悩んでいる子供たちを少しでも減らせるように、教師になったらこの講話を生かしていきたいです。



3 講話・演習「学級づくり(人間関係づくり)」



メッセージやコーチングなどの手法をせっかく習ったので、日頃から意識して使っていこうと思います。

今後授業をするときには、生徒同士が褒め合う時間を積極的に設定し、人間関係を構築する場面につなげたいと思いました。

自分の学級を持ったときに、その目標に向かって集団と個のどちらも指導できるようにしていきたいです。